



# 農作業×モ

## 獣害から農作物を守る！

### 電気柵「楽落くん」の紹介

#### 1 「楽落（ららく）くん」とは

埼玉県農業技術研究センターで開発したハクビシン、アライグマ、タヌキなどの中型動物やイノシシの被害対策用電気柵です。「登る」のが得意なアライグマやハクビシン、「掘る」のが得意なタヌキやアナグマの両タイプに対し、絶妙な高さの柵で感電するよう誘導します。

短時間で簡単に設置でき、高さが低いので作業する場合もまたいで畑に入れます。収穫後の片付けも楽で、次のほ場へと使いまわしもできて便利です。効果も各種作目で実証済みです。

#### 2 獣の行動と電気柵の仕組み

獣は普段通っている場所に新たな障害物ができると、それが安全なものか確認する「探査行動」をとり、まず下に隙間があれば潜ろうとします。潜れ

ないとわかると障害物乗り越えようとして、決して安易に飛び越えること

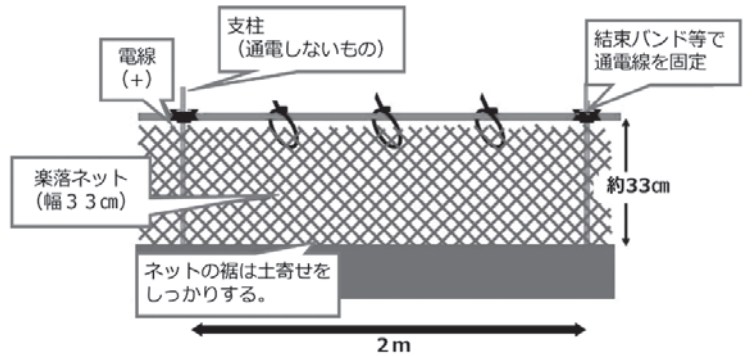
はしません。足元から上に向かって探査行動をとるなかで、獣の鼻の頭が電線に触った瞬間、電気ショックによる痛みを与えることにより、危険なものと学習して近づかなくなります。

電気柵は、この行動を利用して電線に触れさせ防御するので、潜られないように丁寧な設置することが重要です。

#### 3 設置のポイント

##### ①スイッチを切ることなく通電

電気柵は被害が発生する前に設置し、設置と同時に通電します。収穫終了後も電気柵を片付けるまでは、スイッチを切らずに通電します。通電していない柵に獣を慣れさせないためです。障害物（電気柵）を見た獣が、それが安全なものか探査する時に感電さ



楽落くんの模式図

##### ②雑草管理に注意

雑草管理に注意 せることが防除のポイントです。電気柵に植物が当たっていると漏電し、獣への衝撃が弱まり、防除効果がなくなります。特に雑草管理や電線の切断に注意してください。楽落くんの場合、電線の位置が高いため通常の電気柵より草管理が楽です。

#### 4 設置に必要な資材

「楽落くん」はホームセンター等で買える資材で作ることができます。○ほ場の外周が100mの場合○楽落ネット（トリカルネット）

100m、樹脂ポール54本、通電線100m（2段の場合200m）、結束バンド200本、パワーユニット一式、乾電池 単1×4本（不整形や傾斜畑では多めに用意する）

これから始まるジャガイモの植え付け時や、スイートコーン・スイカ・サツマイモの収穫前などに設置すると、効果を発揮すると思います。

#### 5 おわりに

獣は、エサを求めて地域やほ場に侵入してきます。そのため、以下のことが被害防止の基本となります。

第一に、エサ場や棲み処とならないよう、地域環境を整備するとともに侵入初期には追い払いが重要です。

第二に、獣の侵入が確認されたら、電気柵等の設置によりエサ場とならないようほ場を守ることが重要です。

そして地域ぐるみで取り組むことが、何よりも効果的です。

「楽落くん」に対するお問合せは、大里農林振興センター（☎526-2210）まで。

（大里農林振興センター 農業支援部）